包括的な学校改善の視点：教育課程・学習指導

小学校高学年における教科担任制を推進する学校モデル

中核校	名寄市立風連中央小学校	指定校	名寄市立名寄西小学校、名寄市立名寄南小学校 名寄市立中名寄小学校、名寄市立名寄中学校 名寄市立風連中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　教科の特性を生かした授業改善

・理科における実感を伴った理解を深める指導や自己の考えを表現したり見直したりする言語活動を重視した授業展開により、科学的な見方、考え方を養う指導を行う。

・予備実験の徹底や教材教具の周到な準備等による、安全面に配慮した実験・観察を実施する。

○　ＩＣＴを活用した効果的な学習活動の推進

・１人１台端末等のＩＣＴの日常的な活用及び実践内容の学校種間での交流と連携を図る。

・学び合う活動において、実験結果の共有や考察を検証し、自然の事象についてより深い分析・考察や自ら学びを発展させる授業展開を構築するためにクラウドの活用に取り組む。

○　教員一人一人が継続して資質向上に向けた取組を実施

・校内研修等で専門性を生かした授業づくりや授業改善への方策等の共有化を図る。

・全教員が、主体的に学習に取り込む態度の育成に向けた指導のポイントを理解し、授業実践に取り組む。

【ＩＣＴの日常的な活用】

【授業改善に向けた校内研修】

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・教育課程の見直しや適切な運用管理を行った。各学級担任や教務主任と連携し、授業の進行具合を調整し、教育課程の円滑な運用に配慮した。また、教育課程の編成・改善については、地域資源の積極的な活用や児童のニーズに合わせて柔軟に対応できるようにした。

・定期的に教員の授業を観察し、グループワークの進行方法や児童への質問の仕方、実験の準備や進行管理、ＩＣＴの活用方法などを評価するとともに、その情報やテスト等の結果を基に各教員に働きかけ、授業改善を推進した。

〔専科教員の取組〕

・学習指導案やＩＣＴの効果的な活用場面や方法、教材等などについて、Classroom を活用し、全教員と共有し、活用できるようにした。

・ＩＣＴを活用して実験データの記録やシミュレーションを行い、実験や観察を通じて問題解決能力を育成した実践を専科研修で周知した。

【クラウド上で共有した実験結果】

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・名寄市地域協議会において、効果的な取組事例を共有するとともに、指定校で実践した結果について交流した。

・中核校で効果のあった事例をデータベース化し、Classroom や共有ドライブ等を活用し、指定校と情報共有できるようにした。

・名寄市教育研究所の教科研究部会や教育改善プロジェクト委員会において、実践交流や取組の成果についての共有を図った。